



けやき

南中学校だより

校長 保坂 哲也

学校が再開しました

新型コロナウイルス感染症にかかる県の緊急事態宣言の解除を受け、長期にわたる臨時休業が終わり、5月25日から学校が再開しました。臨時休業期間中には、感染予防の点から、保護者に来校いただき、子どもたちの健康状態の把握や課題の配布・回収。学校相談日の設定による、不安や悩みへの対応など、全職員一丸となり努めてまいりました。保護者の皆様には、臨時休業期間中の御理解、御協力に心より感謝いたします。

今後、南中学校としても、しっかりとした安全対策をとりながら、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、教育活動を段階的にスタートしてまいります。

大切なことは一人ひとりの心がけ

今回の新型コロナウイルス感染に関わる難局は、これまで私たちが経験したことのない事柄であります。だからこそ、学校生活のみならず、普段の生活を送る上で大切なこと、それは、何よりも、一人ひとりがこのウイルスについて正しく理解した上で、一つ一つの行動をしっかりとることだと考えています。本校では、こうした考えを大切にして、学校生活の様々な場面で子どもたちへの教育活動を行ってまいります。

○学校再開に当たり、本校では、当面、次のような対策を行っていきます。

- ・ マスクの着用・・・生徒も職員も必ずマスクを着用します。
- ・ 検温及び健康チェック・・・家庭での検温の実施とチェック表の記入。学校では、登校時と教室入室前、2段階による健康状態の確認を行います。
- ・ 石けんによる手洗いやアルコール手指消毒・・・教室に入る際や実技教室への移動、トイレ、給食前など、手洗いやアルコールで手指をしっかりと消毒して教室に入ります。
- ・ 換気・・・学校薬剤師の指導の下、換気(基本的には対角線上の2方向の窓を開け、休み時間ごと空気の入替を行う)を徹底する。
- ・ フィジカル・ディスタンス、学習での対策・・・教室での生徒間の距離を十分とることや、当面、生徒が向き合い、密集するような学習、活動を行わない。また、例えば、音楽の授業における狭い空間や密閉状態での歌唱指導を実施しないこと、体育の授業における、身体の接触を伴う活動や生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面を回避するなどの工夫を行う。
- ・ 消毒の実施・・・生徒下校後、職員による教室内、トイレ等、子どもたちがよく触れる箇所を中心に、毎日の消毒をしっかりと行う。
- ・ 学校での生徒の体調不良への対応・・・学校生活の中で、風邪症状等が見られた場合には、家庭へ連絡し、帰宅の対応をとると共に、その後の状況について家庭への確認を着実にを行う。
- ・ 心の教育の一層の充実・・・感染者、濃厚接触者とその家族、新型コロナウイルス感染症の対策や治療にあたる医療従事者とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は、断じて許されるものではありません。こうした偏見や差別が生じないように、教育活動のあらゆる場面において、十分配慮していきたいと考えております。

○家庭へのお願い

- ※ 登校時、子どもたちの健康状態をしっかりと把握・確認するため、当面の間、登校は、午前8時から8時20分の間としております。御協力をお願いいたします。
- ※ 生徒自身、そして、御家族に体調不良の方がいる場合には、無理することなく、自宅で休養するように、お願いいたします。なお、御家族が感染、濃厚接触者となった場合や、PCR 検査を受けることになった場合には、学校へ連絡をお願いいたします。

～みんなで力を合わせ、一歩ずつ着実に「前へ」～

始業式～新年度の始まり、その第一歩～

5月25日、密集をさけるため、各クラスで DVD 視聴による新任式・始業式を実施しました。始業式の校長の話では、次のような話をいたしました。

皆さん、こんにちは、そして、2、3年生には、はじめまして、校長の保坂です。

まずは、長い、長い学校の休みの中で、皆さん、いろいろな面で大変だったと思いますが、一人一人が本当に頑張ってくれたと校長先生は心から思っています。皆さんのがんばりが、この新型コロナウイルス感染に打ち勝つ大きな力になっている、先生方は皆そう思っています。

さて、新入生、そして、新しい先生方を迎え、令和2年度の南中学校がスタートします。

私は、毎日、武田神社、そして、甲府駅を過ぎて舞鶴城公園の横を通ってくるのですが、いつも感心するのは、神社やお城の石垣です。

石垣の石、よく見ると、みんな違っていています。大きい石、小さい石、ごつごつとした石、丸っこい石、一つ一つの形は違っていても、しっかりと組みあって、何百年も崩れることなく、がっしりとあの大きなお城を支えています。

学校も同じだと思えます。南中学校といった時、それはこの建物、校舎を表すのではなく、そこにいる生徒、つまり、皆さんのことを表すんだと校長先生は思っています。

石垣と同じく、ここにいる全校生徒、「一人ひとりとは違っている」けれど、一人ひとりがしっかりと、南中生だというプライドと、この学校の新しい歴史を作っていくんだという意識をもって、しっかりとスクラムを組んで歩いていくこと、それが大切なんだと思っています。

1年生は小学校での6年間の学びを終えてフレッシュな感覚を持ち、2年生は、まさに南中の中堅学年として、そして、3年生は、「最高学年」「南中学校の顔」として、3つの学年みんなで力を合わせて大きな車輪をしっかりと前進させていってほしいと思います。そのためには、勉強をはじめ、いろいろな活動も、一人ひとりが「自分から進んでやろう」という、前向きで、主体的に行動する意識を持つこと。そして、人は石垣と同じように、一人ひとりが違う存在なのだから、他を思いやる心を持ち、互いを認め合い、この南中の仲間と共に歩むこと。これを忘れないでほしいと思います。

新型コロナの影響もあり、今まで当たり前だったことが今まで通りできなくなることも考えられます。こんな時だからこそ、意識を高く持ち、「南中生としてのプライドを忘れず」新しい南中学校を皆さんで作っていきましょう。

1年間が終わるとき、また一つ前進した皆さんを見ることを心から楽しみにしています。それでは、これで私の話を終わります。